

第 4 回建設検討委員会の意見に対する報告

1. 第 4 回建設検討委員会でのご意見

第 4 回建設検討委員会でいただいたご意見、対応を表 1 及び資料 2 に示す。

表 1 第 4 回建設検討委員会でのご意見

No	ご意見	対応
1	<p>【資料 2 補助的な処理施設の整備方針について】</p> <p>近年、事業費が高騰しているという話があったが、発注段階において更に上がることは想定されるのか。また、現状の金額から下げる具体的な方策はあるのか。</p>	<p>資料 2 で説明する。</p>
2	<p>【資料 2 補助的な処理施設の整備方針について】</p> <p>剪定枝の堆肥化・チップ化のデメリットとして、発酵まで熟成期間が必要とあるが、およそどの程度か。</p>	<p>委員会当日には一般的に2か月程度と回答した。事例を調べた所2か月～6か月程度と熟成期間に差があることが判明したのでここに報告する。</p> <p>①ごみ処理施設整備の計画設計要領(2006 改訂版)の「高速堆肥化施設」では、約2か月とされている。</p> <p>②町田市剪定枝資源化センターでは切り返し 2 か月、熟成 2 か月とされている(出典:日緑工誌「町田市剪定枝資源化センターにおける木質系堆肥の利用事例報告」)。</p> <p>③公益社団法人多度津町(香川県)シルバー人材センターの堆肥化事業では、6 か月の熟成期間を設けている。</p> <p>④新潟県燕市では、自然発酵で6か月の熟成期間を設けている。</p> <p>⑤愛知県豊川市では、4～6 か月の熟成期間を設けている。</p>

No	ご意見	対応
3	<p>【資料3 処理方式の二次選定について】</p> <p>流動床式焼却炉のほうが安いのではないかという話があったが、実績値的にはどうなのか。もしデータがあれば教えてほしい。</p>	<p>流動床式焼却炉の近年の建設費実績を以下に示す。(公表資料で把握できたものに限る)</p> <p>①東京都八王子市(令和4年完成)</p> <p>施設規模:160t/日 建設費:約172億円(税込み) 規模単価:1.08億円/t 発注年度:平成30年度</p> <p>②鯖江広域衛生施設組合(令和8年完成予定)</p> <p>施設規模:98t/日 建設費:約151億円(税込み) 規模単価:1.54億円/t 発注年度:令和3年度</p>
4	<p>【資料3 処理方式の二次選定について】</p> <p>資源物の回収量で、セメント原料が多量に出ることが評価されているが、セメント原料は最終処分をする代わりに、太平洋セメント(埼玉県内)で処理を行っている現状である。これが評価されていることが理解できない。</p>	<p>セメントの資源化の金額を考慮したとしても最終評価が変わらないことは確認している。第4回委員会で示した維持管理費については、セメント資源化のコストの他に売電費用も考慮されていないことから、エネルギー利活用計画の方針が定まった段階で、それらを含めた金額を提示する。</p>